

(2020 年 9 月号掲載)

群馬県内企業の I C T 利活用に関するアンケート調査

群馬経済研究所 主任研究員 半田浩己

～要 約～

1. ホームページを開設している企業は、86.0%に上っている。開設の目的は、「一般的な会社情報の発信」が 71.5%と最多で、次いで「取扱商品・サービス等の紹介」が 55.7%となった。一方で、ホームページ開設による効果については、「人材採用」、「売上増加」など開設の目的に沿う効果が一定程度みられた。
2. 電子メールについては、「メインで利用する連絡ツール」としての利用が 67.0%あり、FAX や郵便を大幅に上回るものの、「顧客への定期的な情報発信ツール」として利用している企業は 10.3%にすぎなかった。
3. 企業内 L A N を導入している企業は 83.9%に上ったが、そのうち外部から企業内 L A N へのアクセスを許可している企業は 34.5%にとどまった。また、アクセスを許可している企業では、81.1%がアクセスするためのスマートフォンやタブレット端末を貸与していた。
4. クラウドサービスを利用している企業は 65.4%に上った。利用の内訳では、「電子メール」が 34.2%で最多であり、「ファイル保管」が 24.8%となった。また、クラウドサービスを利用する理由では、「どこでもサービスが利用できる」が 38.7%で最多であり、「運用コストが安価」と「セキュリティの信頼性が高い」もそれぞれ 26.0%みられた。
5. I C T 全般を利用する上での課題は、「コスト負担」が 46.0%、「情報セキュリティ対策」が 43.9%あり、「社員の利活用能力の向上」も 32.8%みられた。

キーワード：I C T、A I、I o T、企業内 L A N